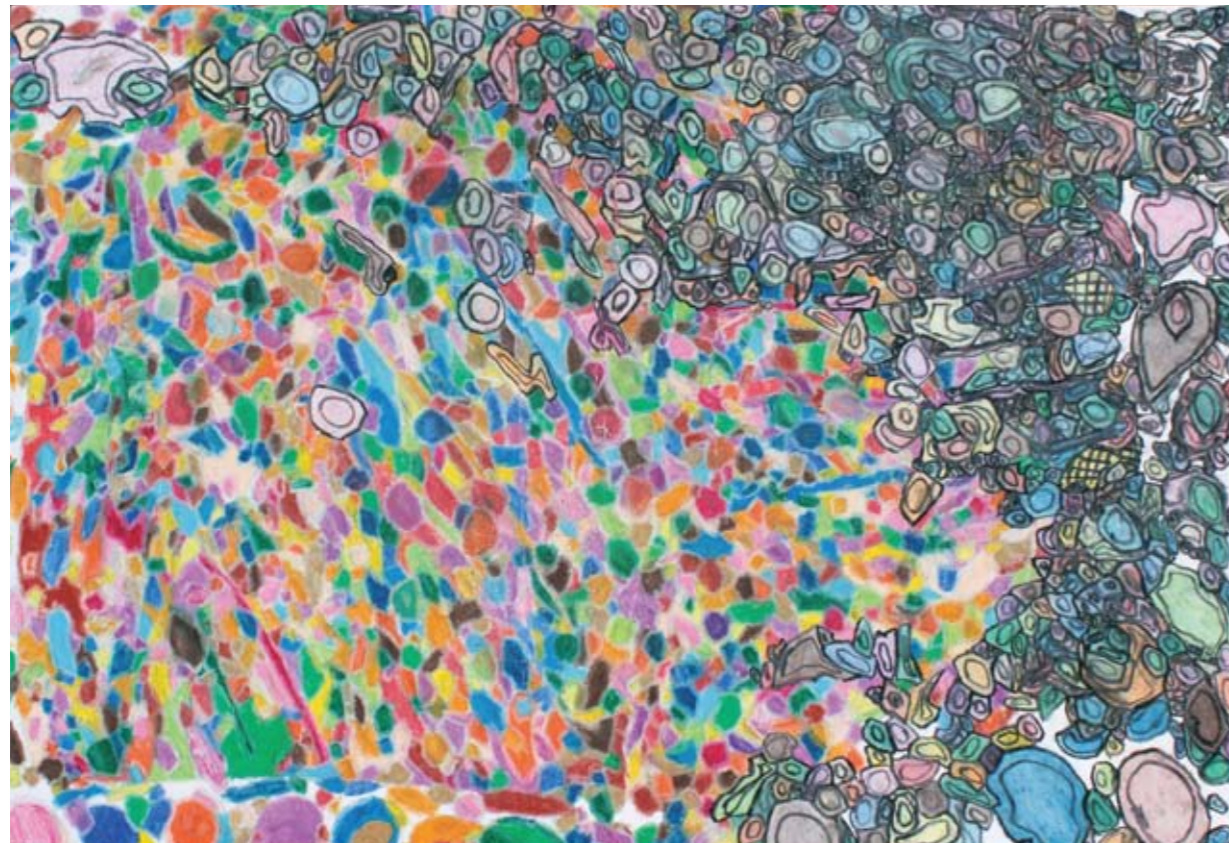




くすのき



● 助川 実氏 平成27年12月1日 あいちアール・ブリュット展 優秀作品受賞「HANA」

第37号 contents

- 大規模災害への備え(一) ————— 2
- 備えあれば憂いなし(寄稿 蒲郡市女性防火クラブ会長 小林 春代) — 3
- 蒲郡市モーターボートチャリティーオークション 収益金の贈呈式 ——— 3
- 各施設だより ————— 4~10
- 新任・退職者紹介 ————— 11
- 各施設寄付物品及びボランティア ————— 12

H27年12月～H28年5月

本部への寄付金

日本モーターボート選手会愛知支部 様
くすの木福祉事業会後援会 様

つじ寮寄付物品 寄付者ご芳名

蒲郡市長 様
蒲郡市議会議員 様
蒲郡市社会福祉協議会 様
蒲郡市競艇事業部 様
愛知県地域婦人団体連絡協議会 様
慈恵福祉保育専門学校 様
大塚保育園 様
大塚公民館 様
株式会社 かに甲羅 様
株式会社 千賀屋 様
杉本屋製菓 株式会社 様
株式会社 近藤建材リビングセンター 様
株式会社 友 様
株式会社 福谷 様
株式会社 杉江電設 様
三州自動車 株式会社 様
豊鉄観光サービス 株式会社 様
有限会社 丸正食肉 様
有限会社 蒲郡印刷所 様
M T ライスステーション 様
丸福青果食品店 様
朝日屋商店 様
光田屋 様
光明寺 様
養円寺 様
敬圓寺 様
長興寺 様
花緒の会 様

神谷栄子 様
海藤るり子 様

つじ寮ボランティア

つくしんぼ 様
桜の会 様
かさね会 様
西浦工芸 様
小林英生 様
萩原とよ子 様
平岩夏居 様
岡本晴美 様
廣濱不二代 様
壁谷文子 様
大岡恵津子 様
水野ノリ子 様
平松政子 様
海藤るり子 様
牧原静子 様
山本あかね 様
山北真由香 様
岡田亜美 様
遠山稜人 様

サポートくすの木寄付物品 寄付者ご芳名

豊橋善意銀行 様
有限会社 丸正食肉店 様
有限会社 蒲郡印刷所 様
株式会社 平松工業 様
株式会社 たけお 様
古橋繊維 株式会社 様
丸仲青果店 様
数井材木店 様
イオン蒲郡店 様
三河製菓 様

M T ライスステーション 様
三浦裕次 様

サポートくすの木ボランティア

綿引健太郎 様

わくわくワーク大塚寄付物品 寄付者ご芳名

蒲郡市長 様
蒲郡市議会議員 様
蒲郡市社会福祉協議会 様
イオン蒲郡店 様
東海液化ガス株式会社 様
カーテン工房マルナ豊川本店 様
朝日屋商店 様
株式会社 福谷 様
有限会社 丸正食肉 様
丸福青果食品店 様
有限会社 蒲郡印刷所 様
杉本屋製菓株式会社 様
フィール蒲郡店 様
株式会社 大須賀鉄工 様

わくわくワーク大塚ボランティア

音の和 様
日比大介 様

お詫び

前号(第36号)でボランティア欄に「清真左会」様のお名前を掲載予定でしたが、手違いにより掲載できていませんでした。お詫び申し上げます。

広報くすのき (年2回発行)

■発行元
〒443-0013
愛知県蒲郡市大塚町後広畑85番地1
TEL (0533) 59-7221
社会福祉法人 くすの木福祉事業会
■<http://tutujiryo.sakura.ne.jp/>

くすの木福祉事業会 | 検索

編集後記

4年に一度のオリンピック・パラリンピックが8月5日からスタートします。暑い選手達を見習って、私達も目標に向かって頑張っていきます。また、「くすのき」の感想等をきかせていただきますと励みになりますので、ぜひお寄せ下さい。

お知らせ

法人現況報告書、事業報告及び決算書は、法人本部またはホームページ上で開示しています。

大規模災害への備え(一)

法人防災連携会議委員 榎山幸広

昨年4月に法人の各事業所が連携して、様々な災害に機能的、効果的に対応できるように会議を立ち上げた。

その中で、先ずは各事業所における防災に対する組織とその取り組みについて「防災マニュアル」を見直した上で新たに作成し、いざという時の災害に備えてきた。

しかし、災害を想定してみると、それぞれの事業所のみでの対応では、大規模な災害時に限界があることが明確になってきた。特に津波を想定した場合、確実に安全な場所への避難が欠かせない。受け入れ先があるのとはいい、日頃の安心感も変わってくる。海抜28mにあるつつじ寮やわくわくワーク大塚と日頃の申し合わせができていないか、い

ないか連携の度合いが問われる。そんなことを議論してきた最中の、4月14日21時26分頃、九州で熊本地震が発生した。今回は、活断層型の地震でまさに想定外の震度7が2回も発生し、いまだに余震が続いており、夜も眠れない状態であることを思うと、現地の皆様方

には心からお見舞い申し上げたい。災害にあわれた方々に私どもができることはいつちも小さなことであるが、義援金を送らせていただいたり、災害派遣に職員登録をし、その要請に応える準備と派遣をしたことぐらいいである。微力が役に立ったかはいつも気がかりだが…。

この大地震は私たちの地域で言えば「東海あるいは東南海、又は南海トラフ大地震」という海溝型の地震が発生したということになる。(活断層型かもしれないが)ここ数年、つつじ寮とわくわくワーク大塚は蒲郡市と災害時の「福祉避難所」として協定を結び、日本赤十字社を通じて様々な災害対応器具の提供を受けたり、市から備蓄食料品の応援を受けてきた。万が一の備えは大事である。ここ

で今まで提供を受けてきたものをいくつか写真で紹介する。(写真①～⑥参照)こうした防災用品の協力を得て、大規模災害があったとき果たしてうまく機能するのか気がかりは多い。しかし、特に指定の学区等の避難所では生活が

困難な障害をお持ちの方々が安心できる場所として、蒲郡市には、つつじ寮やわくわくワーク大塚が「福祉避難所」としてあるんだということにまず知ってもらうことが大切だ。強調すれば、

つつじ寮とわくわくワーク大塚は、災害時の福祉避難所です。

次に、避難場所はわかつたが、大規模災害時には、ライフラインが寸断される。そうした場合に、食料等の備蓄が大切となる。備蓄食料はあるのかが素朴な心配となる。つつじ寮ではこの4月現在、災害時に備え、水を含め

一日三食100人分を、7日分

確保している。但し利用者50人分と職員確保分を含めての話であるが、緊急時には役立つことと想っている。

今後とも事業所連携を含め、福祉避難所の円滑な運用ができるよう、具体的な訓練を通し反省点を見出し改善していくとともに、引き続き関係機関との連携も大事にし、いざという時に備えていきたい。



備えあれば憂いなし

寄稿 蒲郡市女性防火クラブ会長 小林春代

東日本大震災から5年が経過、まだまだ復興道半ばという4月中旬、「熊本地震」が。今回もいくつもの想定外がありました。「14日のM7.3震度7」が本震と「前震」という言葉を初めて耳にしたように思います。

ここ中部地方も東海地震が騒がれ、東南海、南海トラフ巨大地震が懸念されています。

蒲郡市は「市防災計画」で、市民の基本的責務として「自らの安全は自ら守ることが防災の基本であり、市民は平常時より災害に対する備えを心がけ、発災時には自らの身の安全を守らなければならぬ」としています。

ひとたび大災害が発生した場合、「まず生き残り、生き延び」そして日常生活に戻るまでには、長い厳しい「その日暮らし」を覚悟する場合もあると思いま

す。こうした中では、皆を取りまとめる「家族リーダー」「地域リーダー」「職域リーダー」が不可欠となります。蒲郡市と協議と連携を深め定期的に市民に集まって頂き、「防災」への知識の習得と実際の訓練を通し、多くのリーダーを育てることが私の役割だと思っしています。災害時には何より「命が大事」であり、皆を安心させることができる「リーダー」も必要なのです。

また、報道による被災地の生々しき、避難所の息苦しさなどをどこか遠くの出来事だと「他人事」のように思っているのではなく、「自分事」と捉える意識を持ち、非常持出袋の準備、家具の転倒防止、災害時の連絡方法、避難場所までの経路の確認等、災害への備えは大丈夫か、是非、この機会にご家庭で点検してみてください。「備えあれば憂いなし」です。

蒲郡市モーターボートチャリティオークション 収益金の贈呈式

2月25日に、蒲郡市競艇事業部の小田部長様と日本モーターボート選手会愛知支部から吉田支部長様のご多忙の中、つつじ寮にお越しくださいました。訪問目的は、競艇選手が使用していたヘルメット・服・プロペラ等をオークションにかけ、その収益金を法人三施設の利用者の為に使うて下さいというものでした。



当日は、ひまわりホールにて、春原自治会長が吉田支部長様から目録を受け取り、皆で記念撮影してもらっています。



頂きました収益金で、今まで毎回借りていたコンサート用の音響機器を購入させて頂きました。地域交流行事等で活躍すると思います。ありがとうございました。

ポランティアティア特集

「絵画教室」

絵画教室は、月に一度、絵画の壁谷文子先生を招き、指導して頂いています。利用者の方々がとても楽しみにしている活動の一つです。絵画教室で出来上がった作品は、外部の作品展に応募し、色々な方に観ていただいています。

「生け花教室」


つつじ寮では、毎月第一土曜日「生け花教室」を行っています。現在ボランティアとして

「踊り指導」

いよいよ「夏まつり」の季節がやってきました。今年も7月に入り、「清真左会」代表柴田久枝様と仲間の方々が盆踊りのご指導に来て下さいました。8月の本番を前に、利用者みんなが楽しみにしている行事です。

「アート・ブリュット」

昨年12月に開催された、あいちアール・ブリュット展にて助川さんの作品が優秀作品に選ばれ、表彰式に参加してきました。作品の題名は「HANA」。助川さんの頭の中にある花を描いたそうです。抽象画のような、色彩豊かでダイナミックな作品で、助川さんの頭の中を少し覗いているような楽しい気分になれる作品です。



「アート・ブリュット」

昨年12月に開催された、あいちアール・ブリュット展にて助川さんの作品が優秀作品に選ばれ、表彰式に参加してきました。作品の題名は「HANA」。助川さんの頭の中にある花を描いたそうです。抽象画のような、色彩豊かでダイナミックな作品で、助川さんの頭の中を少し覗いているような楽しい気分になれる作品です。

施設実習を終えて

5月16日から5月27日までの10日間、つつじ寮で実習させていただきました。初めての施設実習はとも不安で、分からない事がたくさんあり、緊張もあつたため最初は何もできませんでしたが、実習をやっていくうちに利用者さんや職員の方々と話して、緊張もなくなり、分らない事は職員が教えてくださり、少しずつ分かるようになっていきました。この10日間の実習はとても楽しかったです。本当にありがとうございました。

千綿 真央

自治会 会長・副会長紹介

平成28年度は、会長平野和美さん、副会長平岩一巳さんです。昔から仲良しの二人が今年度は頑張ってくださいませ。「みんなと仲良く一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。」

平野和美さん
平岩一巳さん







ふれあい旅行

6/17(金)

- アクア・トトギふ
- 美濃関物産館












今回の旅行は雨の心配もなく、トラブルもなく過ごす事ができて、いい思い出となりました。

美濃関物産館では、いよいよ昼食です。昼食は岐阜の郷土料理『わっぱめし』を頂きました。郷土料理を堪能した後、お土産を見る人、いっしょく休憩する人と、のんびりと時間を過ごしました。

またアシカショーでは、観客の目の前までアシカが近寄って来る演出もあり、大満足でした。

『美濃関物産館』です。

日帰り旅行の旅先は、岐阜県の『アクア・トトギふ』と『美濃関物産館』です。

アクア・トトギふは淡水魚の展示が『世界』の水族館です。ドジョウや鯉といった見慣れた魚のほか、とっても大きな魚も展示されていてみんなビックリ!!思わず、声を上げてしまつほどでした。





お別れ会
わか かい

正木直樹さんが6月30日をもってサポートくすの木を退社しました。これからは就労継続支援A型事業所に通いながら、将来の一般就労に向けて頑張っていきます。お別れ会では、みんなの前で堂々と一般就労に向けて頑張っていくと宣言していました。7月から正木さんは新たな一歩を踏み出していきます。

お別れ会



鈴木一矢さん
すずき かずや

育成会手をつなぐの表紙を飾る

サポートくすの木に通っている鈴木一矢さんの作品が、全国手をつなぐ育成会連合会の交流誌、「手をつなぐ」の表紙を飾りました。豆まきのお面を作りながら描いたそう、強い鬼を表現した作品に仕上がりました。

これからもいい作品が描けるよう頑張ってください。

鈴木一矢さん 育成会手をつなぐの表紙を飾る



平成27年度
★ 皆勤賞 ★
かいしんしょう

すずき かずや たかはし すえ子



新規利用者紹介
なかにし ちかの
中西 悠乃さん



安城デンパーク



酒のたけおバーベキュー

6月の選択レクリエーションでは、志都呂のイオンで買い物、酒のたけおにてバーベキュー、安城デンパークの3つから好きな所を選んで、出掛けました。買い物コースでは、みんな好きなものを食べ、欲しいものも買えてとても嬉しそうでした。安城のデンパークでは、花がとてもきれいで、広い園内を散歩するのが気持ちよさそうでした。バーベキューコースでは、美味しい肉料理をお腹いっぱい食べ尽くし、大満足な一日でした。梅雨の時期で雨が心配でしたが、3つのコース全部晴天でした。みんな日頃の行いがいいからかな。



新しい公用車
あたらしいこうようしゃ

保護者会から援助をいただきました。新しくエブリイを買いました。主にエブリイは、クリーニング課が使用している公用車です。配達では蒲郡方面によく行きます。時には豊橋方面や岡崎方面まで品物を取りに行く時もあります。利用者さんの仕事もこれで一層はかどります。

保護者会の皆さま本当にありがとうございます。



志都呂イオン

へいせい ねんど じち かいやく いんしょうかい 平成28年度 自治会役員紹介

かいちょう
会長
みながわ かなこ
皆川 可奈子



ふくかいちょう
副会長
なかせ ゆみこ
中瀬 由味子



あんねん かつよし
安念 克吉



いぶき かつるく
伊吹 勝六



いなば えつこ
稲葉 悦子



こじま まりこ
小島 真理子



こばやし たくろう
小林 拓朗



ひらの ゆかり
平野 有佳里



すずき あやこ
鈴木 綾子

かだん みず たんじょうしゃかい じゅんびなど し こと がん ば
花壇の水やり、誕生者会の準備等、お仕事頑張っています。



はっとり こうき
服部 航輝



かねさ りょうた
兼佐 涼汰

今年度より2人の新メンバーが入りました。豊川特別支援学校卒業したての若い2人です。よろしくお願ひします。

新メンバー紹介



大塚 おおつか



▲事業所周辺のゴミ拾い

▲児童館にて草取り

▲老人保健施設にて、車イスの洗浄

わくわくワーク大塚では、毎年6月と12月にいつもご協力をいただいている地域の皆様への感謝の気持ちとして、おつか児童館様と事業所の周辺、老人保健施設様、そして今回から体力活動の散歩コースでトイレをお借りしている橋が丘公園の4ヶ所へ行きました。天気にも恵まれ汗をかきながら皆がんばってくれました。

地域清掃奉仕を行いました。



べんとう お弁当もおいしかったヨ!

かいほう 改札をとお通ります~

なつ 懐かしい電車もありました~!

リニア館に
行って来たよ!



ぜん たい わくわくワーク大塚 全体レクリエーション H28.5.27(金)

平成28年5月27日(金)、利用者さん、職員で、全体レクリエーションとして名古屋にあるリニア鉄道館へ行ってきました。懐かしい電車や歴代の新幹線などが展示された、運転のシミュレーションなどもできました。鉄道好きにはたまらない場所でした。



ジオラマが細かくて、まるで巨人になったよう

運転シミュレーターも体験しました

新任者紹介

● つつじ寮
川村 志知
(生活支援員)



● つつじ寮
豊田 和泉
(生活支援員)



● つつじ寮
伊藤 弥生
(生活支援員)



● つつじ寮
山本 あかね
(生活支援員)



● つつじ寮
梶原 ひとみ
(生活支援員)



● つつじ寮
小林 恵三子
(生活支援員)



● つつじ寮
林 美春
(生活支援員)



● つつじ寮
原田 由香
(生活支援員)



● わくわくワーク大塚
渥美 智暁
(生活支援員)



「くすのき便り」
ご満足！更新中！
各事業所の
“あんなこと～こんなこと～”
また法人行事など、
綴っていきたいと思います。


<http://blog.canpan.info/kusu/>

法人のホームページからでも、
ご覧いただけます。

「サポートくすの木」
○ポップサーカス岡崎公演事務局
○大塚保育園発表会
○日産労連NPOセンター
「Phonix 2017」
クリスマスチャリティー公演
○白井一夫様 みかん狩り
○蒲郡福祉まつり
○大塚公民館文化祭

招待行事


退職者
● つつじ寮
吉本 佳司
(生活支援員)



しょうがいしゃ 障害者サポートセンター すてっぷからのお知らせ

さいきん 最近、成年後見制度という言葉をよく耳にされるのではないのでしょうか。
すてっぷでは成年後見制度についての相談を受けることが増えてきています。
しかし、実際にはよくわからなかったり、難しそうだったりして、いざとなると動き出せない方が多いのではないかと思います。
蒲郡市には社会福祉協議会に蒲郡成年後見センターがあります。相談者には丁寧(ていねい)に説明(せつめい)をしてくれます。また、担当(たんとう)の相談支援専門員(そうだんしえんせんもんいん)に声を掛けていただいても結構(けっこう)です。
この機会(きかい)に成年後見制度(せいねんこうけんせいど)について、考え(かんが)始めて(はじ)はかがですか。

ご相談 下さい！



施設長就任ご挨拶

共同生活援助事業所長兼相談支援事業所長
戸田 哲司



4月1日付でグループホーム4か所と障害者サポートセンターすてっぷの所長に就任しました戸田哲司です。よろしくお願(ねが)い申(まう)し上げ(あ)げます。

平成3年4月に事務員として採用(さいよう)され、大塚授産所(おおつかじゆさんじよ)とつつじ寮(つつじりやう)の勤務(くむ)を経て、平成26年度(へいせい26ねんど)からグループホーム(ぐーぷーほーむ)ひめはる(ひめはる)に配属(はいじゆ)されました。また、この10年間(じゆんねん)は本部事務(ほんぶじむ)担当(たんとう)を兼務(けんむ)し、法人運(ほうじんうん)営(えい)全般(ぜんぱん)に携(たず)わって参(まゐ)りました。

当法人(とうほうじん)が今(いま)、第一(だいいち)の課題(かだい)とするのは、通所事業所(つうじよじぎょうじよ)の利用者(りようじや)が、「親(おや)亡(な)き後(あと)」も地域(ちいき)で安(あん)心(しん)して暮(く)らせるグループホーム(ぐーぷーほーむ)の拡充(かくじゆう)であります。この状況(じきじゆう)下(か)で、この地域生活支(ちいきせいかつせ)援(えん)す

援(えん)部門(ぶもん)の長(ちやう)を拝命(はいめい)したことに對(たい)し、この上(う)ない責任(せきにん)とやりがいを感じ(かん)じます。

歴(れき)代(だい)理事(りし)長(ちやう)や前(ぜん)任(にん)者(じや)のご意(い)志(し)を引(ひ)き継(つ)ぎ、利用(りよう)者(じや)に喜(よろこ)ばれ、地(ち)域(いき)に信(しん)頼(らい)される事業所(じぎょうじよ)を目標(もくひやく)し、今(いま)後(あと)も微(び)力(りき)ながら努(つと)めを続(つづ)けて参(まゐ)りますので、皆(みな)様(さま)のご指(し)導(どう)、ご鞭(むち)撻(たつ)を賜(たま)りますようお願い(ねが)い申(まう)し上げ(あ)げます。



さつき荘にAEDを設置

この度(たび)、グループホームさつき荘(さつきじやう)にAED(エイディー)を設置(せつち)しました。以前(いぜん)から法人内(ほうじんない)研修(けんじゆ)でその操(そう)作(さく)方法(はうほう)を学(まな)んできた世(よ)話(わ)人(にん)の要(よう)望(ぼう)に応(おこ)えたものです。さつき荘(さつきじやう)は法人本(ほうじんほん)部(ぶ)から少(すく)し離(はな)れた所(ところ)に位置(いち)し、近(きん)隣(りん)にAED(エイディー)の設置(せつち)場(ば)所(じよ)がありませ(な)ん。使(つか)わずに済(す)むに越(こ)したことはありませ(な)んが、万(まん)が一(いち)の事(じ)態(たい)に備(そな)えたいと思(おも)います。



気分一新!

日本財団福祉 車両助成事業

平成12年(へいせい12ねん)から当法人(とうほうじん)で使用(しじゆ)してきた愛(あい)の鈴(すず)号(ごう)が老朽(らうきゆ)化したため、2月(がつ)に日本財団(にっぽんざいだん)様(さま)から新(あたら)しい公用車(こうようじま) (HONDA N-BOX) を配備(はいび)していただきました。障害(しょうがい)者(じや)サポ(さ)ー(と)セン(た)ー(す)て(っ)ぷ(の)業(ぎ)務(む)はそ(の)特(とく)性(せい)上(じやう)外(がい)出(しゆ)が(お)多(おほ)く、小(こ)回(わ)り(の)利(き)く軽(けい)自(じ)動(どう)車(じま)は(と)も重(じゆう)宝(ほう)し(ま)す。これ(から)新(あたら)しい相(あ)棒(ぼう)と一(いっ)緒(じゆ)に蒲郡市(かまごりし)内(ない)を回(まわ)りたいと思(おも)います。

